

News

ウェルネス



No.132

ウェルネス小畑歯科医院

子どもの歯を守る会

会報 1998年2月創刊

〒640-8401

和歌山市福島324-1

☎073-455-9874

<https://www.wellness-kobata-dc.com/>

言語聴覚士って なあに？

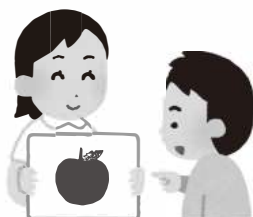
こんにちは。言語聴覚士の
岡です。今回は院長の勧め
で、言語聴覚士についてご
紹介したいと思います。



言語聴覚士(ST)とは？

「ことばが出てこない」「話を聞いてもわからない」などコミュニケーションに問題のある方に専門的にかかわり、自分らしい生活を送れるよう支援する専門職です。また、「食べるときにむせる」「うまく飲み込めない」など摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

「言語療法は、ことばを言わせる訓練だ」というイメージがあると思いますが、そうではありません。病気や事故、発達上の問題などによる脳機能の障害によって、社会生活を送る上で、人には見えにくい困難さをかかえる、さまざまな患者さんに対して行なうリハビリテーションの一つです。



たとえば、スーパーでりんごを買うときに、どんな脳の働きが必要でしょうか。買うものはりんごだと記憶すること、案内図を見て売り場の位置が理解できること、店員さんに尋ねること、レジでお金の計算ができることなど、一見簡単にみえる行動でも、さまざまな脳の機能が働きあって、はじめて可能となるのです。

たとえば、スーパーでりんごを買うときに、どんな脳の働きが必要でしょうか。買うものはりんごだと記憶すること、案内図を見て売り場の位置が理解できること、店員さんに尋ねること、レジでお金の計算ができることなど、一見簡単にみえる行動でも、さまざまな脳の機能が働きあって、はじめて可能となるのです。

言語聴覚士は、脳の機能改善だけでなく、患者さんの気持ちや希望に寄り添うことを大切にしながらリハビリテーションを進めます。

ことばによるコミュニケーションは 多岐にわたる

脳卒中後の言語障害(失語症、構音障害)や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、発達障害、声や発音

の障害、吃音など、ことばによるコミュニケーションの問題は多岐にわたり、小児から成人まで幅広く現われます。

また高齢化が進む中、認知症や老人性難聴によるコミュニケーション障害に加え、「食事中にむせる」「食べ物がのどにつっかえて飲み込みにくい」など食事について不安を感じる方も多いと思います。

ことば、聞こえ、飲み込みの問題が起きる原因は、たとえば、

- ・脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、頭部外傷
- ・変性疾患（パーキンソン病など）
- ・知的障害、自閉性スペクトラム症
- ・口蓋裂、先天性鼻咽腔閉鎖機能不全
- ・脳性麻痺
- ・難聴（先天性・老人性・中耳炎などによる）
- ・声帯ポリープ、声帯麻痺
- ・舌がん、喉頭がん
- ・吃音
- ・学習障害

などがあります。

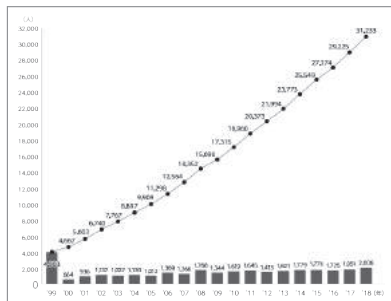
言語聴覚士は、コミュニケーションや摂食・嚥下の問題の

本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見い出すため検査・評価を行います。必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。さらに、医師や歯科医師の指示のもと、嚥下訓練や人工内耳の調整(マッピング)なども行います。



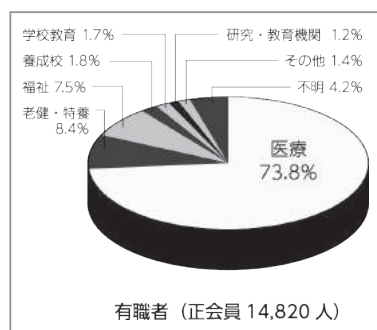
言語聴覚士の推移

1997年(平成9年)に国家資格となり、国家試験に合格して厚生労働大臣から免許を受けるようになりました。毎年1,500人程度が言語聴覚士となり、有資格者数は2012年(平成24年)3月には2万人を超え、2018年(平成30年)3月には3万1千人となっています。



言語聴覚士が働いている場所

言語聴覚士は、医療職の中では比較的新しい資格です。理学療法や作業療法に比べ人数は少なく、女性が多いのが特徴です。



今のところ医療

機関で働く言語聴覚士が7割と圧倒的に多いのですが、介護施設や訪問リハビリテーションなどの需要も高まっています。

- 医療……病院(リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、小児科、形成外科、口腔外科など)
- 介護……老人保健施設、デイケア、訪問看護・訪問リハビリテーション事業所など
- 福祉……障害者福祉施設、障害児療育施設、障害児通所施設(放課後等デイサービスなど)
- 教育……小中学校の通級指導教室(ことばの教室・難聴学級)、特別支援学校、教育センター、言語聴覚士養成校(大学、短大、専門学校)など
- 保健……保健所、保健センターなど

子どもの言語療法

子どものことばを育てるために大切なことは、家族、特に母親との信頼関係をもとに、子ども自身が自分の手、足、体を使って外の世界に働きかけることです。「3歳になってもことばを話さない」という相談では、お子さんの普段の様子をお母さんに伺い、いっしょに遊びます。子どもにとって、遊ぶことは大切な仕事です。

発達障害の子どもが増えている、と言われていきます。知能は正常ですが、社会や学校生活で生きづらさをもっています。注意・集中が苦手だったり、一

つのことにこだわり、他のことに取り組みにくかったり、他人の気持ちが理解しにくかったりします。

社会生活を送る上での技術(ソーシャルスキル)を学習する訓練が必要な場合、小グループでSST(ソーシャルスキルトレーニング)を行います。短期間ではすぐに成果が出ないこともあります。その場合は長期的スパンで、根気強く、粘り強くかかります。

重度の知的障害があり、ことばの獲得が望めなくても、視線や表情によるコミュニケーションの成立を支援することができます。

「もっと子どもをよく見て」

子どもの何気ないおしゃべりには、その子の願いや不満が表われています。何よりも子どもの「心」を大事にしてほしい、と思います。

「食べる」は「生きる」

当院では、在宅で過ごされている患者さんには訪問診療を行っています。歯科衛生士が丁寧に口腔ケアをした後、言語聴覚士が発声や口腔機能の訓練を行います。数ヶ月に1回、耳鼻科の医師に往診を依頼して、内視鏡による嚥下機能検査を行い、口から食べられるように訓練します。家族や他の職種の方と協力できることが重要になってきます。

鼻からチューブで食事をとることは、味気ないと思います。口から食べ物を入れて、歯で噛んで食べる。口から食べることは、生きることに前向きになるはずで。

小畑歯科での私の仕事

私は病院で30年働いた後、障害福祉サービスの事業所を立ち上げ、今は小児分野で働いています。小畑歯科には患者としてお世話になっていましたが、院長先生に声をかけていただき、2017年12月から毎週火曜日、働くことになりました。

「食べたり飲み込んだりがしにくい」「うがいができるようになりたい」「はっきりしゃべれるようになりたい」など、主に歯科衛生士さんを通じて、患者さんの具体的なニーズを伺いスケジュールを組んでいます。

患者さんの思いを受け止め、これまでの経験とつながりを生かし、一歩前へ進む言語療法に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(言語聴覚士・岡美代子)

参考：日本言語聴覚士協会ホームページ

黒部源流を訪ねて ～雲の平と周辺の山々～④

2018年7月22日～7月29日

6泊7日小屋泊まり縦走

祖父岳へ

今日の予定は今回の最高峰、水晶岳だ。

山小屋の前でザックを整えていると水晶岳の稜線から朝日が差し込み、雲ノ平全



▲水晶岳から見た雲ノ平と黒部五郎岳

体が真っ赤に染まる。見事なモルゲンロート（朝日で山が美しく染まる様子を指す登山用語）。昨日のきつい直登も忘れ、甥っ子と二人で元気良く出発。まずは途中のテント場で水を補給し、最初のピーク祖父岳（ジイダケと読む、祖母岳もバアダケと読む）を目指す。ガイドブックによれば、雲ノ平は10万年前に祖父岳から流れ出た溶岩でできた4km四方の台地で、北端には温泉（高天原）も湧いている。途中、テント場の水源でもある雪田をトラバースし、はい松帯を通る。今日で五日目、標高にも慣れザックも少し軽くなった。予想以上の急坂だったが「このジイサンなかなかやるなあ！」と余裕で登ることができた。祖父岳は地味だが、遠く頂上からは槍ヶ岳とそれに続く穂高連峰や後方の立山連峰まで一望できる。

黒部源流域

30分ほど下るとフリモ岳北分岐に着く。数名の登山者が休憩している。右には鷲羽岳、少し離れて三俣蓮華岳、その向こうにはカール地形がきれいな黒部五郎岳と飛騨の秀峰笠ヶ岳が見える。いずれも3,000mに少し満たないが北アルプス中央部の名峰たちだ。すぐ下の谷は世界有数の激流である黒部川の源頭



▲水晶小屋

だ。鷲羽岳と祖父岳の鞍部から「最初の一滴」を滴らせ、雲ノ平を大きく回り込み、直立に近

日本海に注ぐ。左は野口五郎岳から烏帽子岳に続く

人気の縦走路。途中から水晶岳から赤牛岳、黒四ダムへと分岐する。どちらも健脚向けの縦走路だ。今回は左に進み水晶岳へと向かう。

疲労凍死

鷲羽岳から水晶岳周辺は北アルプスの中でも強風で知られており、遭難による死者も出ている。3,000m級の登山では、夏でも風雨が強いと少しの休憩ですら簡単に体温は下がる。多くは疲れて動くことができず、風雨にさらされて低体温症となり死に至る疲労凍死だ。歩き続けることが大切だと頭では理解しているが、結構きつい。手元の高度計はすでに2,900mを超え、酸素濃度は平地の70%ほど。すぐに息が上がるが、ペースを落として休まずに前に進む。1時間ほどのアルバイト（急登で体力を大量に消耗することを指す登山用語）で無事水晶小屋に到着する。予想以上に小さな小屋で、この日も二人で一つの布団。薬師沢小屋から三日連続である。受付を済まし、ザックを小屋に預け山頂を目指す。



▲水晶岳山頂

水晶岳と白骨

水晶岳は北アルプスのど真ん中にあり、山頂は北峰と南峰とに分かれる双耳峰だ。小屋から一時間ほどで到着できた。山頂は狭いが様々な山々が一望でき、今回の最高峰を堪能する。小説家で登山家でもある深田久弥は、著書「日本百名山」の中で水晶岳のことを黒岳と呼んでいる。山肌そのものが周囲の山と比べ黒いからだ。いまでは水晶岳という呼び名が一般的で、実際に登山道脇に水晶の結晶をいくつも見つけることができた。古くは六角形の結晶から六方石山と呼ばれていた。また山賊本によれば、昭和23年から30年頃まで水晶小屋から水晶岳の縦走路に「道しるべになった白骨」があり、それを見た何人もの登山者が命を救われたそう。そういえば小屋から少し離れたところに安全祈願のお地藏さんが安置されていた。



▲小屋の裏にあるお地藏さん

(院長)

つまようじ法の講師・長浦さんに来ていただきました

2017年5月以来
2回目！



小畑歯科医院に勤務して半年の中出です。

先輩衛生士の皆さんに何度も指導を受け、患者さんにつまようじ法の術者磨きを行うようになって4ヶ月が経ちます。

今回、つまようじ法の講師として全国で活躍されている歯科衛生士の長浦寛子さんが来院し、スタッフ一同指導してもらうことになりました。

まず長浦さんによる術者磨きを患者さんの立場になって実際に体験しました。すると、毛先の角度や力加減によって自分が想像していた以上に感じ方が変わるのに驚きました。

その後、よりマッサージ効果を得られるようにするにはどう改善すればいいか、一人ひとり歯ブラシの持ち方からブラッシングの速さまでしっかりと教えてもらいました。

今回特に印象深かったのが、長浦さんの親しみやすい雰囲気と丁寧な声かけでした。技術だ



▲指導の様子

けではなく、患者さんとのコミュニケーションの大切さにも改めて気づくことができました。

(歯科衛生士・中出幸)

新人歯科衛生士奮闘記！

その⑤人生初の
スノーボード



歯科衛生士
藤本 真央

1月に同期の西本と友達数名とスノーボードをしに長野に行ってきました。修学旅行でスキーをしたことはありましたが、スノーボードは全くの初心者です。最初は不安でしたが、経験者の友達に教えてもらい、数時間ほどでなんとか滑れるようになりました。

途中、なんでこんなに転けるんだろうとか痛い嫌だなという気持ちにもなりましたが、友達が笑いに变えてくれたので助かりました。

帰ってきてから筋肉痛になりましたが、久しぶりに体を動かすことができてすごく楽しかったです。

せっかく滑れるようになったので、忘れないうちにまた行ってみたいと思います。



【2019年ゴールデンウィーク診療のお知らせ】

4月30日(火)～5月2日(木)は、
通常通り診療 いたします。

院長不在のため
ご迷惑おかけしますが、
よろしくお願いします。



4/28 (日)	29 (月)	30 (火)	5/1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)
休	休				休	休
5 (日)	6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木)	10 (金)	11 (土)
休	休					